

特別講演 2

「高血圧対策の重要性と沖縄での長寿復興の試み」

琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学 教授
大屋 祐輔 先生

優れた高血圧治療薬が利用できるようになり、また、降圧治療による循環器イベント抑制もエビデンスで明らかとなっている。しかし、現在も、我が国での循環器疾患による死亡に対する最も大きな寄与度を持つ危険因子は高血圧である。降圧薬を服用していても十分なレベルにまで降圧されていない高血圧患者が多くいることなど、高血圧治療には解決すべき点が多く残されている。高血圧患者に対して、生活習慣の修正や服薬遵守などの指導を幅広く行うためには、医師のみならず多職種でそれらの対象者に取り組む必要がある。また、個人へのアプローチのみならず、地域ぐるみで健康増進をすることが、結果として、高血圧治療の成果を出すことにつながる可能性がある。本講演では、沖縄で我々が行っている長寿復興のための地域で行う健康増進運動に触れつつ、高血圧治療の重要性を解説する。